



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月28日

上場会社名 株式会社 エスティック
 コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘英

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 2021年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,805	9.5	583	28.7	632	42.0	426	44.1
2021年3月期第2四半期	2,562	36.1	453	62.4	445	61.8	295	62.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 486百万円 (56.8%) 2021年3月期第2四半期 310百万円 (61.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	171.85	
2021年3月期第2四半期	119.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	7,871	6,870	86.4
2021年3月期	7,491	6,526	86.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 6,800百万円 2021年3月期 6,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		61.00	61.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				64.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,569	5.2	1,085	2.8	1,097	2.3	762	4.4	307.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	2,942,000 株	2021年3月期	2,942,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	460,489 株	2021年3月期	463,089 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	2,479,654 株	2021年3月期2Q	2,478,981 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2021年11月9日にアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 国内市場

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症第5波により、戻りかけた経済活動も再び官民規制が強化される状況もあり一部業種では依然厳しい経済環境が継続してまいりました。他方、米国や中国など海外市場における経済回復に伴う輸出増加により景況感の改善している業種もあり、業種間での二極化が鮮明になってまいりました。

そのような状況のなか当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、半導体供給不足に加え、長引くコロナ禍により一部の部品供給が滞ることにより多くの自動車関連メーカーにおいて断続的かつ長期間の生産調整が実施され、今後の状況も不透明な環境が継続しております。第1四半期に引き続きコロナ禍における行動制限や接触制限を継続している客先も未だ多く存在しており、各社の設備投資の見通しが不透明な状況が依然継続しております。

品種別販売状況については工具系であるハンドナットランナは堅調に推移いたしましたが、機械設備系となるナットランナやネジ締付装置は、年度初頭に兆しのあった中小型設備の回復傾向も減少し第1四半期を大きく下回る結果となりました。

② 米国市場

米国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響も一部には残るものの社会活動は概ね正常化しつつあり、製造業、非製造業ともに堅調な推移を示しており、設備投資も底堅く、個人消費も堅調に推移しております。

品種別販売状況については、ハンドナットランナの売上が一旦踊り場となっていますが、受注状況は日系及び米系自動車メーカーや米系農機具メーカーなどを中心に第1四半期に引き続き堅調に推移しており、第3四半期以降底堅い推移を予測しております。

③ 中国市場

中国経済は、前半は輸出輸入ともに拡大基調にあり、個人消費、設備投資、雇用などの内需も堅調に推移していましたが、政府による投資抑制政策や半導体不足などにより経済活動はペースダウンしてまいりました。

品種別販売状況については、日系自動車メーカーを中心にハンドナットランナは堅調に推移しておりますが、ナットランナは第1四半期に対して軟調に推移しております。

④ その他の市場

その他市場の品種別販売状況については、タイ市場は新型コロナの影響が拡大しロックダウン状態が継続しており、営業活動が制約されている影響により全品種とも軟調に推移しております。カナダ市場においては第1四半期に引き続きハンドナットランナが堅調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上状況は、上記の市場環境により品種別販売状況については、ナットランナ、ハンドナットランナ、修理点検においては前年同四半期比増収、ネジ締付装置、サーボプレスは前年同四半期比減収となり売上高2,805百万円(前年同四半期比9.5%増)となりました。

利益状況は、比較的利益率の高いナットランナ、ハンドナットランナの売上が堅調に推移したことを受け売上総利益率が増加し、営業利益583百万円(前年同四半期比28.7%増)、売上高営業利益率20.8%(前年同四半期は17.7%)、経常利益632百万円(前年同四半期比42.0%増)、売上高経常利益率22.5%(前年同四半期は17.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益426百万円(前年同四半期比44.1%増)となりました。

地域別売上においては、国内市場でナットランナ、ハンドナットランナが堅調に推移したこともあり国内売上比率が増加し、海外売上高1,613百万円(前年同四半期比7.3%増)、国内売上高1,192百万円(前年同四半期比12.6%増)、売上全体に占める海外売上比率は57.5%(前年同四半期は58.7%)、国内売上比率は42.5%(前年同四半期は41.3%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、7,871百万円と前連結会計年度末比379百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金が101百万円、電子記録債権が171百万円、土地が247百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が174百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、1,000百万円と前連結会計年度末比35百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、買掛金が77百万円増加した一方、未払法人税等が34百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、6,870百万円と前連結会計年度末比344百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、利益剰余金が274百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、1,311百万円となり、前連結会計年度末に比べて101百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは508百万円の収入(前年同四半期は293百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益632百万円、減価償却費54百万円、仕入債務の増加額77百万円などの増加要因があった一方、製品保証引当金の減少額13百万円、法人税等の支払額228百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは276百万円の支出(前年同四半期は9百万円の収入)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出264百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは152百万円の支出(前年同四半期は241百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額151百万円などの減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2021年10月25日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,498	1,312,501
受取手形及び売掛金	1,509,134	1,334,819
電子記録債権	263,712	435,162
商品及び製品	490,622	463,200
仕掛品	253,697	349,147
原材料	1,233,105	1,162,873
未収消費税等	12,390	8,218
その他	87,879	117,048
貸倒引当金	△1,782	△1,738
流動資産合計	5,060,257	5,181,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	812,654	791,766
土地	830,106	1,077,770
その他(純額)	134,390	125,484
有形固定資産合計	1,777,150	1,995,021
無形固定資産	46,627	48,815
投資その他の資産		
繰延税金資産	158,096	156,633
その他	450,119	490,393
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	607,415	646,227
固定資産合計	2,431,194	2,690,064
資産合計	7,491,451	7,871,298

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,915	202,633
未払法人税等	235,286	201,157
賞与引当金	64,315	77,112
役員賞与引当金	—	11,250
製品保証引当金	44,000	31,000
その他	238,454	201,007
流動負債合計	706,971	724,160
固定負債		
退職給付に係る負債	247,480	265,903
その他	10,261	10,385
固定負債合計	257,742	276,289
負債合計	964,714	1,000,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	640,241
利益剰余金	6,715,646	6,990,552
自己株式	△1,461,719	△1,453,511
株主資本合計	6,450,676	6,734,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,427	40,745
為替換算調整勘定	△17,773	25,386
その他の包括利益累計額合計	18,653	66,131
非支配株主持分	57,407	70,433
純資産合計	6,526,737	6,870,848
負債純資産合計	7,491,451	7,871,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年9月20日)
売上高	2,562,377	2,805,948
売上原価	1,472,509	1,507,948
売上総利益	1,089,867	1,298,000
販売費及び一般管理費	636,701	714,842
営業利益	453,165	583,158
営業外収益		
受取利息	70	77
受取配当金	2,735	2,490
為替差益	—	25,480
持分法による投資利益	—	10,403
雇用調整助成金	—	9,932
その他	838	780
営業外収益合計	3,645	49,165
営業外費用		
為替差損	19	—
持分法による投資損失	11,617	—
その他	22	89
営業外費用合計	11,659	89
経常利益	445,150	632,233
税金等調整前四半期純利益	445,150	632,233
法人税等	135,502	194,457
四半期純利益	309,648	437,776
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,001	11,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	295,647	426,120

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
四半期純利益	309,648	437,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,099	4,318
為替換算調整勘定	△8,332	23,573
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,134	20,955
その他の包括利益合計	631	48,847
四半期包括利益	310,280	486,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,979	473,598
非支配株主に係る四半期包括利益	12,301	13,026

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	445,150	632,233
減価償却費	72,680	54,186
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△231	△44
受取利息及び受取配当金	△2,806	△2,568
支払利息	—	1
為替差損益(△は益)	449	△69
持分法による投資損益(△は益)	11,617	△10,403
売上債権の増減額(△は増加)	239,942	21,456
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105,826	7,840
仕入債務の増減額(△は減少)	43,466	77,717
未払金の増減額(△は減少)	△108,375	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,288	12,797
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	15,006	11,250
株式報酬費用	—	1,950
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△13,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,222	18,417
未収消費税等の増減額(△は増加)	△9,253	4,171
その他	△67,924	△80,863
小計	541,403	735,073
利息及び配当金の受取額	2,808	2,568
利息の支払額	—	△1
法人税等の支払額	△250,534	△228,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,678	508,990
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	—
定期預金の払戻による収入	60,000	—
有形固定資産の取得による支出	△17,920	△264,807
無形固定資産の取得による支出	△9,904	△8,768
投資有価証券の取得による支出	△3,755	△3,554
その他	1,295	854
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,716	△276,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△927	△1,413
配当金の支払額	△240,309	△151,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241,236	△152,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,203	20,984
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,954	101,000
現金及び現金同等物の期首残高	504,090	1,210,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	562,045	1,311,747

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症について)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の拡大または収束を予測することは困難な状況ではありますが、当社グループへの影響は限定的であるとの仮定に基づき、当連結会計年度における会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の終息時期は不透明であるため、今後の状況の変化によっては、連結財務諸表の作成に影響を与える可能性があります。